

国際短期導入炉 こくさいたんきどうにゅうろ

International Near Term Deployment (INTD) . 次世代の原子炉概念の一つ。2002年2月の第4世代国際フォーラム、ロンドン会議において、米国から、2015年までに導入可能で、改良型軽水炉（ALWR）と同等以上の性能を有する改良型炉を国際短期導入炉として第4世代計画の枠内で選択したいとの提案があり、全加盟国の了承を得た。国際短期導入炉は第4世代原子炉と異なって、基本的には当事国の責任で研究開発を進めるものである。2002年7月のリオデジャネイロ会議において、国際短期導入炉の概念として、つぎの5概念が決定した（表参照）。（1）改良型BWR、（2）改良型圧力管型炉、（3）改良型PWR、（4）一次系一体型炉、（5）モジュラー型高温ガス炉。

<登録年月>

2003年03月

第4世代原子炉と国際短期導入炉の選択結果

(1)第4世代(GEN-IV、2030年までに導入)

- ①超臨界圧軽水冷却炉 (SCWR)
- ②ナトリウム冷却高速炉 (SFR)
- ③鉛合金冷却高速炉 (LFR)
- ④超高温ガス炉 (VHTR)
- ⑤ガス冷却高速炉 (GFR)
- ⑥熔融塩炉 (MSR)

(2)国際短期導入炉(INTD、2015年までに導入)

- ①改良型BWR (ABWR-II、ESBWR、HC-BWR、SWR-1000)
- ②改良型圧力管型炉 (ACR-700)
- ③改良型PWR (AP600、AP1000、APR1400、APWR+、EPR)
- ④一次系一体型炉 (CAREM、IMR、IRIS、SMART)
- ⑤モジュラー型高温ガス炉(GT-MHR、PBMR)

- [出所] (1)原子力委員会:研究開発専門部会第7回革新炉検討会
(2002年11月7日)報告書付録1「各国の動向」、http://aec.jst.go.jp/jcst/NC/teirei/siryo2002/siryo44/siryo2_3_2_1.pdf 3/13
(2)U.S.DOE:A Technology Roadmap for Generation IV
Nuclear Energy Systems, http://gif.inel.gov/roadmap/generation_iv_technology_roadmap/pdf,17/97,25/97~26/97